

## 教育指導の重点

	重 点
学校経営	<p>◎校訓「『健（すこやかに）』いたわり合い、励まし合い、学び輝く」のもとに、児童生徒一人一人の病気や障がいの状態に応じた適切な支援を通して、「児童生徒一人一人が輝く」教育を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合化された特別支援学校として様々な障がいに対応した合理的配慮を提供するとともに、地域のセンター的機能を担う。</li> <li>・「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」の策定や活用を通して、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、家庭、地域社会、医療、福祉等関係諸機関との連携のもと、長期的な視点に立った教育的支援を行う。</li> </ul> <p>◎児童生徒の命を守りきることを最優先に考え、全職員が危機意識をもって、安心して安全に過ごすことができる環境を形成する。</p>
研 修	<p>◎教職員の資質の向上と豊かな人間性を目指し、幅広く体験的な研修を計画的に実施して確かな指導力・授業力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題研究を通して、学んだことを授業に活かし、主体的に学ぼうとする児童生徒を育成するための授業研究を推進する。</li> <li>・校内の人材や地域資源等を有効に活用し、教職員の資質を高める研修を計画・実施する。</li> </ul>
教科指導	<p>◎「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」を活用して、一人一人の進度や学習空白、興味・関心等を的確に把握し、評価の観点を明確にするとともに、きめ細かな支援を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な学習を通じた基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、学習したことを自ら活用し生活に活かす力を育むことができるように、心の内面の育成を図る。</li> </ul>
道徳教育	<p>◎教育活動全体を通して心のふれ合いや助け合いを大切にし、温かい人間関係を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけがえのない命を大切に、協力して強く明るく生きようとする意欲と態度を育てる。</li> <li>・教育活動全体を通して指導の充実を図ることで、社会生活を送るために必要なルールやマナーを、個々の状況に応じて経験を拡充しながら体得できるようにする。</li> </ul>
外国語 外国語活動 (小学部)	<p>◎身近な生活の中で見聞きする外国語への興味・関心を育て、日本と外国の言語や文化の違いや様々なものの見方や考え方について、体験的に理解を深められるよう指導方法を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力の素地を養うために、異なる文化の人々と交流等の体験の拡充を図るとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる環境の充実を図る。</li> </ul>
総合的な 学 習（探 究）の時間	<p>◎自ら考え課題を解決する力を育てるとともに、地域社会の一員として生きていくために必要な資質や能力の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習等の集団構成の工夫、情報機器の活用、地域資源の活用等、地域や学校の特色が出るよう努める。</li> </ul>
特別活動	<p>◎学級活動や児童生徒会・委員会活動・全校集会を通して、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする児童生徒の自主的な態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校・高等学校の児童生徒や地域の人々との交流及び共同学習を行い、社会性や豊かな人間性を育てる。</li> </ul>
自立活動	<p>◎自立活動の時間や学校生活全体を通して児童生徒が障がいの状態や特性、発達段階等に応じて、主体的に自己の力を発揮し、よりよく生きていこうとする姿を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」を活用して、個に応じた支援の在り方等を常に評価し、修正を図りながら効果的な支援を行う。</li> </ul>

生徒指導	<p>◎社会生活や登下校におけるルールやマナー、安全に関する学習を年間を通して計画的に行い、基本的な生活習慣や生活全般及び社会生活における積極的で望ましい生活態度を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人が安心して充実した学校生活を送れるよう、病障がいの状況や行動特性等の情報を共有し、全校体制による支援を行う。</li> </ul>
進路指導	<p>◎「個別の教育支援計画」「キャリア・パスポート」を活用し、外部機関との連携を図る中で、児童生徒が将来の夢や希望の実現に向けて主体的な進路選択ができるように支援を行うとともに、社会自立・職業自立に向けた実践力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場開拓や卒後支援の場から必要な情報の収集に努め、保護者及び本人への必要十分な進路情報の提供及び支援・指導を行う。</li> </ul>
健康教育	<p>◎全校体制で健康、安全に関する管理と教育を効果的に進めるとともに、疾病や事故、災害の防止に万全を期す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の病障がいの状況に配慮し、生活習慣の確立と自主的に健康を管理する力を育成する。</li> </ul>

## 分掌の年間目標と重点

### 教務部

〈年間目標〉

- ・児童生徒が必要な資質、能力を育むための学習活動と学習評価の充実を図る。

〈重点〉

- ①合わせた指導と総合的な学習（探究）の時間の充実
- ②社会に開かれた教育課程の実現に向けた地域や家庭との連携・協働
- ③読書活動の推進
- ④タブレットをはじめとする ICT 機器の効果的な活用と機器の管理

### 研修部

〈年間目標〉

- ・主題研究や各研修会を通して、教師としての指導力向上を図り、児童生徒の学びの向上に向けた授業実践の充実を図る。

〈重点〉

- ①主題研究や校内研修を通して校内の教職員の専門性向上と教育実践の充実を図る。
- ②校内研修や勉強会を通して教職員が主体的に学んだり、教え合ったりしながら専門性の向上を図る。

### 特別支援部

〈年間目標〉

- ・関係諸機関との連携を図りながら、家庭支援を含めた校内支援体制を構築し、児童生徒一人一人の実態に応じた切れ目ない支援の充実を図る。
- ・地域のニーズに応えるため、校内外の人材や資源を活用したセンター的機能の充実を図る。

〈重点〉

- ①個別の教育支援計画を活用し、関係諸機関と連携した支援体制を整え、支援・指導の充実を図る。
- ②特別支援教育についての理解・啓発や支援の充実を図るとともに、相談者の要請に適切に対応し地域支援センターとしての役割を果たす。

## 健康安全部

〈年間目標〉

- ・児童生徒及び職員の健康・安全のために、傷病・事故災害の発生を未然に防ぐための危機管理、傷病・事故災害発生時の危機管理、事後の危機管理について、職員全体で組織的に取り組む。

〈重点〉

- ①健康教育・食育・安全教育の推進
- ②教員の危機管理意識の向上と事故や傷病の未然防止
- ③防災教育の推進
- ④保護者や関係機関、地域との連携や協力体制づくりの推進
- ⑤日常的な感染症予防(衛生管理)の組織的な取組

## 生徒支援部

〈年間目標〉

- ・児童生徒が安全かつ安心して充実した学校生活を過ごせるよう、学校生活全般を通して積極的な生徒支援に努める。

〈重点〉

- ①「生徒指導提要」の内容を校内で共通理解し、日常的な教育活動の中で発達支持的生徒指導を進める。
- ②仲間とともに、生き生きと活動するために必要な態度や能力の育成をめざす。
- ③関係諸機関との連携を図り、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた生徒支援に努める。

## 進路支援部

〈年間目標〉

- ・児童生徒が、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択・決定できるように、早期からの継続的、組織的な支援を行う。

〈重点〉

- ①勤労観・職業観を身に付けるとともに、将来に対する目的意識をもって、自己の進路を主体的に選択決定できる能力や態度を育成する。
- ②最新且つ必要な進路情報の提供と、関係機関との連携を強化し、卒業後の生活に向けた環境整備の充実を図る。
- ③キャリア教育の推進
- ④職場開拓及び卒業生への追支援。

## 渉外部

〈年間目標〉

- ・会員同士の連携を図り、自主的なPTA活動の推進、活性化をはかる。
- ・学校や児童生徒をとりまく地域の人や関係機関との交流を深める。
- ・災害時に対応できるPTA組織と意識づくり。

〈重点〉

- ①各種委員会活動において、会員による主体的な計画、準備、運営を図る。
- ②ホームページや学校だより等の情報発信に力を入れる。
- ③災害時に対応できるPTA組織と会員の意識づくり。